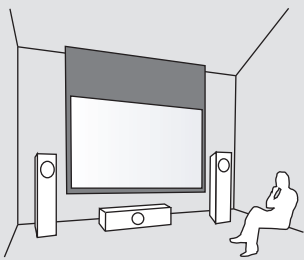


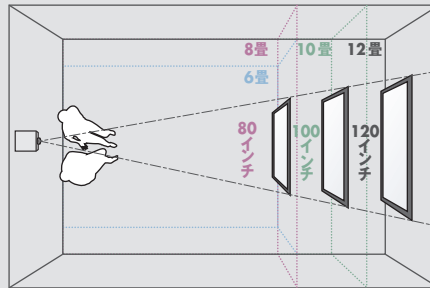
## スクリーンサイズ / CTP / プロジェクター

## 4 スクリーンサイズを決めます。

## スクリーンサイズの決め方



スピーカーのサイズや設置位置に注意が必要です。スピーカーはサウンドスクリーンを使う場合を除きスクリーンの左右と下に置きます。スクリーンを選ぶ際は、どこにどのくらいの大きさのスピーカーを置くかということを検討し、十分な設置スペースを取れるようにスクリーンを選びます。



お部屋の広さ	平米数	イメージサイズの目安
6~8帖	9.9~13.2m <sup>2</sup>	80~100型程度
10~12帖	16.5~19.8m <sup>2</sup>	100~120型程度
16帖~	26.4m <sup>2</sup> ~	120型~

## スクリーンイメージサイズ

映像が映る部分 (W×H) をイメージサイズといいます。ホームシアターで使用されるスクリーンのイメージサイズには、大きく分けてHD (16:9)、ビスタ (17:9)、並びにシネマスコープ (2.35:1) があります。

※NTSC (4:3) や WXGA (16:10) をご希望の方は業務用のカタログをご覧ください。



型	HD (16:9)		ビスタ (17:9)		シネマスコープ (2.35:1)	
	W (mm)	H (mm)	W (mm)	H (mm)	W (mm)	H (mm)
50	1107	623	1122	594	1169	496
60	1328	747	1347	713	1402	597
70	1550	872	1571	832	1636	696
80	1771	996	1796	951	1870	795
90	1992	1121	2020	1070	2103	896
100	2214	1245	2245	1188	2337	995
110	2435	1370	2469	1307	2571	1094
120	2657	1494	2694	1426	2805	1193
130	2878	1619	2918	1545	3038	1294
140	3099	1743	3143	1664	3272	1393
150	3321	1868	3367	1783	3506	1491
160	3542	1992	3592	1901	3740	1590
170	3764	2117	3816	2020	3973	1691
180	3985	2242	4041	2139	4207	1790
190	4206	2366	4265	2258	4441	1889
200	4428	2491	4490	2377	4674	1990

## スクリーンマスクサイズ

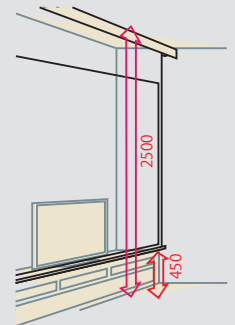
## オーエススクリーンのCTP

オーエススクリーンは、ご家庭での快適観賞のために、上黒 (上部マスク高) の設定に関し、CTPの考え方を適用しています。一般的な家庭の標準天井高2500mm、AV機器などを収納するローボードの高さ450mmをスクリーンの基準値とし、「上黒+イメージ高+下黒」が2050mmになるように上黒を設定します。この事によりユーザーはイメージサイズの大きさやアスペクトによる上黒寸法の設定に煩わされることなく、全体寸法でスクリーンをお選びいただけます。この考え方をCTP (ケース・トゥ・パイプ) と呼称し、今後のスクリーン展開に生かしてまいります。

※オーエススクリーンでは不要な上部マスクは無料にてカットしてご提供しております。

スクリーンマスクは一部の電動スクリーンで延長が可能です。

特注にて上部マスクをサウンドスクリーン仕様加工することも可能です。詳しくはお問い合わせください。



## 5 プロジェクターを決めます。

お好みのプロジェクターが決まっている場合は、プロジェクターメーカーのカタログから投写距離を確認しましょう。決まっていない場合は、プロジェクターの投写距離を確認しながら、解像度と明るさ、専用ルームの場合はコントラスト比に注意してプロジェクターを選定します。解像度と明るさ (光量)、コントラスト比は数字が高い程良いですが、なるべくバランスの良いプロジェクターを選びましょう。

## スクリーンゲイン1.0のときの最低必要光量の目安

単位: (ANSI)ルーメン

スクリーンイメージサイズ (HD)	80型	100型	120型	150型	200型
専用ルーム (2Dの場合)	285	445	641	1002	1780
専用ルーム (3Dの場合)	854	1335	1923	3005	5341



- 専用ルームは映画館と同程度の暗室です。リビングシアターは2~3倍以上の明るさの機器を選びましょう。
- 光量のカタログ値は全白の測定値です。実際にはシーンにより光量は下がります。
- 明るさが足りないときはスクリーンの反射率 (ゲイン) の高い素材を選ぶなどの検討が必要です。
- プロジェクターの設置は、映像にかからない天井吊り下げがお勧めです。